

当院において2017年5月1日から6月30日までに9階西病棟に入院された 患者さんへのお知らせ

研究課題名：急性期病棟におけるインフォームド・コンセントへの看護支援の現状

1. 研究の対象

当院では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、9階西病棟に入院された患者さんを対象に調査研究を実施します。

2. 研究目的・方法

近年では、患者さんの自己決定を尊重した治療の選択がなされることが重視される傾向にあり、患者さんが治療を選択するには医師からの十分な情報と説明を与えられた上での患者さんの理解と同意が必要不可欠です。インフォームド・コンセント（以下ICとする）における看護師のかかわりは、患者さんの意思決定を支援していくうえで非常に重要であると考えられます。そこで、本研究では、当院に入院していた患者さんに行われたICへの看護支援の現状について明らかにすることを目的としています。

既存の情報のみを用いる研究であり個人が特定されうる情報は匿名化したのちに解析するため個人情報情報が漏れることはありません。治療介入を伴わない既存情報のみを用いた情報であるため新たに負担やリスクはありません。また経済的負担、謝礼もございません。研究結果は論文や学会等で発表いたします。研究に関するデータは論文の発表から5年後に破棄いたします。

3. 研究に用いる情報の種類

性別、年齢（歳代）、家族構成、IC用紙、「情報・説明」を与えられた上での「同意・承諾」内容を示したインフォームド・コンセント内容やその後の反応を記載した医師、看護師の診療録

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

岡山県倉敷市松島 577

湊 千春（川崎医科大学附属病院 9階西病棟 看護師）

電話：086-462-1111（内線 29140）

木村 純代（川崎医科大学附属病院 9階西病棟 看護副師長）

電話：086-462-1111（内線 29140） E-mail：ryosyusumi@hp.kawasaki-m.ac.jp

5. 利益相反

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社など）から提供してもらうことによりその結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究は、本研究を実施する関係者に資金等の受け入れはございません。